

外国の来館者を増やすための小樽水族館とビジュアルサポートの共同企画

プロジェクト代表者：サーマン・ジョン

1. プロジェクトの目的・概要

このプロジェクトは、小樽水族館へ英語版の視覚的な案内物を作成することを目的としています。主要な案内は動画で作成しました。これはプロジェクトメンバーが夏から冬のほぼ一年を通して水族館へ足を運び、館内のさまざまなイベントを撮影することで完成しております。英語でナレーションを入れたものをYouTubeに上げられるよう編集し、水族館用にDVDを作成しました。また、もう一つは、小樽駅から水族館への行き方を含めた英語版の紙媒体の館内案内であり、そこには水族館で企画されているショーやイベントが掲載されています。

2. 具体的な取組内容

①小樽水族館の造りやレイアウトを把握するためゼミ生たちが数回に亘り水族館へ行きました。
②初夏頃、ゼミ生たちによる下記の人気観光スポットで観光客への該当インタビューを実施しました。

インタビュー内容は、小樽水族館へ行ったことがあるか、日本語以外の案内や支援についてどう感じたかです。

① ミュンヘン交差点；② 小樽運河（2回）；③ 小樽駅

③ 下記のようなイベントの撮影を致しました。

① 小学生の磯の会；② 小学生向けの水族館体験；

③ イルカのショーなど各イベント

④ 水族館の展示の撮影も行ないました。

⑤ 小樽駅から水族館までの行き方を実際に行いながら撮影しました。

⑥ 水族館の場所やイベント、行き方など収集した情報を一つにまとめ、1枚の紙媒体の館内案内を作成しました。

3. プロジェクトの成果及び地域への還元

① 小樽観光中の外国人旅行者から直接水族館に関する知識についての解答を得ることができました。

② 日本人以外の方々に対して魅力的で、且つそういった方たちからのニーズに合わせた動画を作成することができました。

③ 水族館全体の宣伝となるような英語版の視覚的な案内を作成する支援ができました。

④ このプロジェクトを通し、ゼミ生たちは水族館の方たちに日本語以外の支援の必要性を訴えることができ、その結果ショーの最中に中国語と英語の表示を含めるといった新たな試みが実施されるようになりました。

⑤ ゼミ生の山田奈々歩穂さんは水族館の冬のショーの英語アナウンスを録音し、今後夏のショーに関しても追加で録音を行なう予定となっています。

⑥ ゼミ生たちは大学外の地域の方たちと交流し公企業と関わることで貴重な経験を得ることができました。